

今後の社会資本のあり方に関する 懸賞論文（第2回）実施報告



情報・企画部
研究員

白井 克哉

1 実施概要

一般財団法人国土技術研究センター（以下、JICE）では、国民の社会資本に対する認識、理解、評価等を明らかにするために、2017年と2021年に「社会資本に関するインターネット調査」を実施し、調査データをホームページで公開している。

これまでに、この調査データを活用し、今後の社会資本整備のあり方、論点などが明らかになることを期待して懸賞論文を募集してきた。

この度、土木学会、みなと総合研究財団と連携し、第2回の懸賞論文を募集し、下記の審査委員会による査読審査の上で受賞論文を決定した。

〈募集概要〉

募集期間：2023年3月29日～11月6日

応募条件：一般の部及び学生の部、個人又はグループ

論文内容：JICE ホームページで公開している「社会資本に関するインターネット調査（2017年及び2021年）」の調査データを用いて、応募者が独自に分析を行い、今後の社会資本整備のあり方、論点などについて論じること。

〈今後の社会資本のあり方に関する懸賞論文 審査委員会〉

石田 東生 一般財団法人国土技術研究センター
国土政策研究所 所長

大原 美保 東京大学大学院情報学環
総合防災情報研究センター教授

川崎 茂信 一般財団法人国土技術研究センター
理事

神田 佑亮 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授

酒井 洋一 一般財団法人みなと総合研究財団 専務理事

佐藤 克英 一般財団法人国土技術研究センター
業務執行理事

谷口 博昭 芝浦工業大学 客員教授
塚田 幸広 アジア航測（株）事業推進本部 総括技師長
三輪 準二 公益社団法人土木学会 専務理事
湧川 勝己 北海道大学大学院工学研究院 客員教授
（※所属・役職は審査時（2024.2）のもの）

2 受賞結果

◆一般の部 最優秀賞

「Well-Being 社会実現に向けた地方創生と
社会資本の在り方に関する考察」

鹿島建設技術研究所サステナブルソサエティラボ
三浦 奈都さん

概要：地方創生・地方移住に関する課題を再確認し、東京圏と地方圏の暮らしの充足度および社会資本整備の必要意識に関して分析を行うとともに、地方移住を検討する人の意識と照らし合わせることで、地方移住の魅力および移住者を増やすために必要な取り組みに関する考察を行った。

◆一般の部 優秀賞

「厳しい財政状況下における住民の視点に配慮した
老朽化橋梁の集約・撤去に向けた一考察」

一般財団法人災害科学研究所 原田 紹臣さん

概要：厳しい財政状況下における住民等の視点に配慮した老朽化橋梁の円滑な集約・撤去に向けて、既往のアンケート調査結果において回答されたインフラの維持管理に関する要望等に対して、ChatGPT等を活用した分析により、現在の課題や今後の方向性等について考察した。

◆学生の部 優秀賞

「インフラ充足度が日本の将来予測に与える影響と地域格差」

南山大学経済学部経済学科 千種 莉央さん
石川 楓さん

久保田 咲紀さん

西井 萌々香さん

概要：インフラ充足度が日本の将来予測に与える影響と特にどのインフラ充足度が重要かについて、線形回帰モデルを用いて分析を行い、インフラ充足度の影響を評価した。

「政府と国民の意識の違いに着目した社会資本のあり方の考察」

広島大学先進理工系科学研究科 松下 貴哉さん

井戸川 昌樹さん

広島大学工学部第4類

神崎 兇斗さん

益田 大世さん

概要：「政府と国民の間で社会資本のあり方に関する意識に、大きな違いはない」という作業仮説の基、2時点の国土交通白書とWeb調査をテキスト解析することでその仮説を検証した。

◆学生の部 佳作

「人口減少下における社会資本整備」

南山大学経済学部経済学科

青井 拓海さん

林 尚吾さん

森 一馬さん

中谷 光希さん

概要：「社会資本に関するインターネット調査」のデータを利用し、住民の社会資本全体に対する充足度を被説明変数としてプロビット推定を行うことで、人口減少が進む日本において、限られた予算の中でどう社会資本を整備していくかについて検討した。

3 石田 東生 審査委員長の講評

受賞されたみなさま、おめでとうございます。本懸賞論文は、多くの方に社会資本整備（インフラ）に興味を持って頂きたい、貴重な調査データを活用頂きたいという想いで、土木学会、みなと総合研究財団と連携し、企画したものです。

第2回となる今回は、第1回に比べて、企画の意図を汲んだ質の高い論文の応募があり、一般の部より最優秀賞1点、優秀賞1点を表彰させて頂きました。

また、学生の部ではインフラ分野だけでなく経済分野から応募があるなどの関心の広がりや、ChatGPTを調査手法に取り入れるなどの意欲的な取組が見られたことを評価し、優秀賞2点、佳作1点を表彰させて頂きました。

社会資本・インフラは私たちの生活経済社会の営みにとって不可欠な存在です。今の私たちの暮らしの「あたりまえ」を支えているインフラに、これからも多くの興味・関心を持って頂くことを期待します。

4 最優秀賞、優秀賞の受賞者による論文発表会を開催

一般の部 最優秀賞を受賞した鹿島建設技術研究所 三浦さん、一般の部 優秀賞を受賞した一般財団法人災害科学研究所 原田さん、学生の部 優秀賞を受賞した広島大学 神崎さんによる論文発表会を2024年5月17日に開催した。



写真1 受賞者による論文発表（一般の部最優秀賞 三浦さん）



写真2 石田審査委員長との記念撮影
（前列左から石田審査委員長、神崎さん、三浦さん、原田さん、
後列は審査委員及び事務局）

論文発表会の映像は、下記QRコードから視聴いただける。
https://www.jice.or.jp/labs/infra_internet_survey

